

指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	多文化共生推進プランの達成率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	60	62	65	72	
	活動指標	愛知県国際交流協会が主催(共催)する研修及び会議に参加した人数	人	目標	2	2	2	2	
				実績	2	2	2	2	
				目標					
				実績					
	単 事 業 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
		受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—	

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの				
	事業の達成状況と課題	愛知県国際交流協会が主催する研修や会議に出席し、職員の資質向上及び他市との情報交換を行った。 ・令和5年度市町村・市町国際交流連絡会議(4月21日、1名参加) ・国際交流・多文化共生コーディネーター講座(12月15日、1名参加)	今後の実施内容・今後の改善内容	賛助会員の会費は、当協会で定められたものであり、今後も負担していく。			
	改善の有無	無		千円	節	細節	細々節
これまでの改善内容			事務 事業 評価 額				

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

		評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	小牧市の多文化共生を推進するうえで、愛知県内の国際交流及び多文化共生事業を実施している団体との連携は不可欠である。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	一部の住民に影響がある	愛知県内の国際交流及び多文化共生の情報が入手困難となる。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	定められた負担金額のため、削減はできない。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	包括的に愛知県内の国際交流及び多文化共生を事業を行っている団体への負担金支出であり、委託や統合は妥当でない。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	県と市町村及び国際交流協会が連携して多文化共生を進めていくために必要な負担金である。